

# 2018新春山行 榛名連峰・天狗山(1179m)

日程：2018年1月30日

メンバー：6名（A澤、O田、K崎、N田、F林、H野）

報告：A澤

2014年水沢山で始まった我が新春山行も5年目となり、手持ちの引き出しもかなり寂しくなってきた。老翁、老媪が歩ける北関東の易しい日帰りコース、それも電車を使ってとなると本当に限られてしまう。困った時の神頼みで今年も榛名山周辺に目をつけ天狗山をターゲットにした。

参加者は6名とこちらも年ごとに少なくなるのは高齢化進む中、致し方ないというもので今年がもう最後になるのかなあと寂しくもなる。

JR高崎駅前から9:30発の群馬バス榛名湖行に乗車、登山口の榛名神社まで1時間10分、途中の室田営業所で10分程の休憩時間が設けられている位にかなりの距離で料金1100円也。バス停前の標高が808mとあるので頂上までの標高差は約370m、シニア向きだ。

天狗山へはバス停から宿坊や土産物のお店が並ぶ坂道を少し上り、随神門手前を右折する。舗装された細い道路を行くと程なくして落葉松と広葉樹の混在する枯れた樹林帯の中に赤い小さな鳥居が建てられていてそこから本格的な登山道になった。残った雪が凍っているのではないかと懸念したが、その心配はなさそうだ。鏡台山からの尾根の直下がかなりの急登で足元が悪く滑り易いのでロープをかけた。



天狗山頂直下の赤い鳥居

ここがルートのコル部で、登り詰めたコルが4合目となりそこから先は旗矢山の山腹をまわらばトラバース道となり、厚く積み重なった落葉を蹴散らしながらの足弱のルートでも物足りない位な楽勝ペース。雪は無くまるでうら寂しい晩秋の趣。やがて8合目の標識があり、わずかな登りで9合目となり傍らに奉納された小さな赤い鳥居が並ぶ中を少し上り岩場を登るとそこが天狗山の頂上だった。

先行したカワさんが温かい甘酒で出迎えてくれた。登山口から丁度2時間は想定通り、いいペースだったと云えよう。

頂上は幾つかの岩峰が立ち並び、それぞれの岩には石碑や鳥居、小さな祠等が設けられており、信仰登山の盛んだった往時が偲ばれた。岩峰の先まで行くと南東から南西にかけての展望が開け広い関東平野から秩父連山や妙義山、浅間山等が確認出来た。



天狗山頂にて

下山は往路をそのまま戻り、バスの時間があったので榛名神社で初詣としゃれこむ。神社は第31代用明天皇(585~587)の時代の発祀と云われる古い歴史を持ち、主祭神は火の神である「火産靈神」と土の神である「埴山毘売神」で、鎮火、開運、五穀豊穰、商売繁盛及び雨乞いの神社として、又、修験者の霊場として大変結構なご利益があるらしい。(神社パンフレット)より。参拝後はJR高崎駅前の居酒屋でミニ新年会を行い解散となった。

#### <コースタイム>

歩行時間：上り2時間、下り1時間25分